

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案（その他の人権）

1 単元名 仕事と自分

2 単元について

本単元「仕事と自分」では、職業や働くということについて考えることを通し、生徒たちは自分の生き方を見つめていく。現段階において、将来の自分の生き方を考えたとき、ただ漠然と職業を捉えていたり、まだどのような方向に進もうとしているのか明確でなかったりする生徒がほとんどである。働くという意味を考えたとき、給料を得るため、生活を支えるためといった経済的な理由や、面白そう、楽しそうといった感覚的な理由にとどまっている生徒も多い。また、それぞれの職業の仕事内容を詳しく知ることなく、自分が得ている一部の情報やイメージでその職業の価値を判断してしまうこともある。どの職業においても、一生懸命にその役割を果たすことが尊いことであり、見た目やイメージでその職業の価値を決めてしまうことは間違っていることに気付かせていく。さらに、働くということには、社会を支える、誰かのために働くといった社会的な側面や、大変でも苦しくても、それが自分の成長につながるといった自己実現の側面があるということについても考えを広げていく。仕事をすることは働く人の努力と周りの人との関わりの中で成り立っていることに気付き、学級の係に対する自分の見方を見つめ直し、仲間・学級のために自分がすべきことを誠実に行ったり、仲間の頑張りを認めたりしていく意識を育てる。

3 単元の目標

資料や職場体験から、どの仕事も尊いものであることや仕事することは働く人の努力と周りの人との関わりの中で成り立っていることに気づき、学級の係に対する自分の見方を見つめ直し、学級のために自分がすべきことを誠実に行ったり、仲間の頑張りを認めたりする意識を育てる。

4 単元における評価

項目	問題解決につながる知識 (認識力)	共同的に学ぶ技能 (自己啓発力・行動力)	自他を大切にする 価値観および意欲 (自己啓発力・行動力)
規準	資料をつかった学習や職場体験から、どの職業にも責任とやりがいがあることに気づいている。	職業や学校生活の仕事に対する仲間の考えを自分の考えと比較しながら聞くことで、さらに自分を深く見つめ、それを仲間に伝えている。	どの仕事も人との関わりの中で成り立ち、相手の思いを受け止め、互いを尊重していこうという意欲をもっている。

5 本時の目標

Aさんと関わる利用者の思いを踏まえて自分がAさんのように働けるかを考えることを通して、福祉の仕事が大切な仕事であることや、苦勞を乗り越えて働くことの大切さがわかる。

6 本時の展開（「福祉の仕事②」）

段階	主な学習活動	留意点と評価
導入	<p>【わかる】</p> <p>1 前時の学習の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんは「一人ひとりに合わせる」「厳しい仕事だけれど…」「笑顔を取り戻したい」という思いで仕事をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aさんの職業観・勤労観を端的に示す。 ・Aさんは利用者の方とどのように関わっていたかを確認する。
展開	<p>2 Aさんが福祉施設でがんばって仕事ができる理由をプリントに書き、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の喜ぶ顔が見たいから。 ・高齢者とかかわることが嫌ではないから。 ・高齢者福祉の仕事は大切で、誰かがやらないといけないから。 ・利用者とスタッフの距離が近いこの施設で働きたいと思っていた。夜勤をして眠くても、利用者の心に近づきたいと思っているから。 ・自分が働きたいと思って入った福祉施設だから。 <p>3 課題を確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分ならAさんのように働けるか。</p> </div> <p>4 自分はAさんのように働けるかを班で交流する。</p> <p>5 ネームプレートを黒板に貼り、自分の意見をはっきりさせて全体で交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">働ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人とかわかることは苦手じゃない ・喜んでもらえるのはうれしい </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">迷う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りと触れ合うのはできるけど、いつも笑顔はできない。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">働けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信がない ・ストレスがたまる ・人と関わるのは苦手 ・自分には向いていない </div> </div> <p>6 BさんやCさんはどんな気持ちでAさんの介助を受けているかを全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくしてくれてうれしい。申し訳ないような気がする。 ・自分の子供にはやってもらえないことをやってもらえてありがたい ・Aさんは、なくてはならない存在。いないと困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えて仕事をしていることを押さえる。 ・Aさんも嫌だと思わないかと切り返して発問することで、苦勞がある中でも乗り越えていることを確認する。 ・仕事が大変だと思ったり、自分にはできないという気持ちをもったりする率直な感想を認める。 ・どちらが正しい意見ということではなく、両方の意見を認める。 ・お互いの意見を聞いて考えたことを発言できるようにする。 ・特にかかわりが紹介されている「Bさん」「Cさん」の気持ちを考えることで、介助を受ける側の気持ちを考える。
終末	<p>7 本時考えたことをプリントに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事はとても大変だと思ったけれど、この社会には大事な仕事なのだと分かった。 ・Aさんは一人ひとりに合わせて仕事をしていてすごいと思った。 ・自分だったら風呂の世話はやっぱり無理だと思うからAさんはすごいと思った。 ・自分は働けないと思うが、介護の仕事は大切だとわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が今まで無理だと思っていた介護の仕事でも、大事な仕事であると考えることができる。

5 本時の目標

働くうえで大切だと思うことを交流する中で、自分の仕事の姿を振り返り、自分見つめをする。

6 本時の展開（「働くうえで大切なこと」）

段階	主な学習活動	留意点と評価
導入	<p>【わかる】</p> <p>1 今まで学習した内容を振り返る。</p> <p>2 課題を確認する。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>働くうえで大切なことは何だろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・働く前や、働いているときに大切なことは何かを考えさせる。
展開	<p>3 前時までの学習から、働くうえで大切だと思うことを付箋に書き出す。</p> <p>・誰かのために ・まわりを見て動く ・一生懸命 ・自信 ・あきらめない ・嫌なことでも続ける ・やりたい仕事 ・やりがいを見つける ・笑顔 ・あいさつをする ・責任 ・目標をもつこと</p> <p>4 付箋に書いたことを交流しながら、班でホワイトボードに付箋を貼っていく。</p> <p>5 貼りだした付箋を仲間分けし、各まとまりにかためる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>責任</p> <p>あきらめない</p> <p>嫌なことでも</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>想い</p> <p>仲間のために</p> <p>役に立ちたい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>目標</p> <p>やりがい</p> <p>目標をもつ</p> </div> </div> <p>6 班で出てきた意見を全体で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思ったことを自由に書かせ、多様な考え方に気づかせる。 ・意見が出ない生徒やグループには、前時までのプリント振り返るように促す。 ・少数の意見も大切にするように指導する。 ・似ている言葉や共通する言葉には線でつないだり、円で囲ったりして分類するように促す。 ・伝える側・聞く側の姿勢や方法の良さを価値づける。 ・共通する意見、多様な意見が出たことを確認し、思いを出し合えたことを認め合う。
終末	<p>【見つめる】</p> <p>7 本時の学習から自分の係の仕事において、自分の働きぶりを振り返る。</p> <p>・僕は班長に立候補したけど選ばれなかった。それは班長として足りないところがあるからだと思う。まずは今の係を精一杯やって、班長もできる力と自信をつけたい。</p> <p>・やりたかった係になれなかったから、どうでもいいと思っていた。だけど、それではだめだと思った。仲間のために責任をもってやりたいと思う。</p> <p>・呼びかけたりするのが苦手だから、楽そうな係を考えていました。でも、苦手だからやらないのではなく、苦手なこともできるように努力していかなければならないと思いました。</p> <p>8 挙手や指名で意見を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする前に、意図的指名で、係の仕事に対しての自分の働きぶりを発表させる。 ・一人ひとりでさらに身につけさせたい力とはちがうため、自分にとって大切なことを書かせる。